

# 中学校 全学年

# 【戦争と平和 7】

☆こんな本を希望



戦争について考える本



☆図書館で準備できる本（全11冊）

	書名・著者・出版社	内容
1	<p>戦争はなぜ起こるか</p> <p>佐藤忠男/著 ポプラ社 2001.11</p> 	<p>戦争の形は変わってゆくが、その原因の基本的な所はあまり変わらないのではないかと。戦争はなぜ起こるのか？何がテロを生み出すのか？その一番基本的な所を解説する。1974年刊を基に改めて考えて書いたもの。戦争を考えるために基本となる本である。</p>
2	<p>こども戦争と平和 戦争と平和について考えるきっかけとなる本</p> <p>小原雅博/監修・著： バウンド/著 カンゼン 2025.6</p>	<p>なぜ戦争はなくなるのだろうか？今、世界で起きているさまざまな紛争がなぜ起きているのかを写真や図表とともに解説。また、過去の日本が関係した戦争とその結末、日本周辺にもある戦争の火種などについても説明する。戦争のこと自体について知るための本。日本がなぜ戦争に突き進んだかも解説している。</p>
3	<p>戦争はなぜ起こる？どうすれば防げるのか？ 歴史と国際社会のしくみから考えよう</p> <p>森肇志/監修 (楽しい調べ学習シリーズ) PHP 研究所 2023.9</p>	<p>ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の理由や背景を解説。また、国際社会の成り立ちや戦争が起こる原因について説明し、国際法、国際連合、安全保障体制など、さまざまな視点から戦争と平和の関係、戦争を防ぐ方法を探る。</p> 
4	<p>新・戦争のつくりかた りぼんぷろじえくと/文： りぼん山本/原案・監修： りぼん山本/原案・監修</p> <p>マガジンハウス 2014.9</p>	<p>10年前に今を予言していた平和の絵本「戦争のつくりかた」に、発刊から10年間で起きた事実をまとめた資料を補足する。見返しに、自衛隊の海外派遣地域を示した地図あり。わかりやすい。</p> 

戦争とは？

<p>5</p>	<p>教えて!池上彰さんどうして戦争はなくなるの? 地政学で見る世界</p> <p>1 アメリカ・ロシア 2 日本と世界の国々 3 戦争と平和の歩み</p> <p>池上彰/監修 小峰書店 2023.4</p> 	<p>地政学をもとに国と国との関係を知り、「なぜ戦争はなくなるのか」を考えよう。</p> <p>1 は、地政学とは何かを説明し、地政学の視点からアメリカとロシアを解説。戦争が起こるさまざまな原因にも触れる。</p> <p>2 は、地政学の視点から日本、中国、北朝鮮を中心としたアジアの国々の関係を解説する。</p> <p>3 は、世界の戦争と平和の歴史や、どうすれば戦争がなくなるのか、平和のための取り組みなどを解説する。</p>
<p>6</p>	<p>平和と戦争の絵本</p> <p>1 人はなぜ争うの? 2 平和ってなに? 3 戦争はなぜくり返される 4 非暴力で平和をもとめる人たち 5 わたしたちは平和をめざす 6 憲法で平和を考える</p> <p>石山久男/編: 岩川直樹/編: 目良誠二郎/編 大月書店 2002.12</p>	<p>人は争いをやめることができるのか? 平和をつくるとはどんなことなのか? さまざまな角度から平和と戦争の本質にアプローチする。世代をこえて語り、考える絵本。</p> <p>1巻では、私たちの心の中の問題から、平和と戦争を考える。</p> <p>2巻では、身近なことから平和と戦争を考える。</p> <p>3巻では、歴史の事実から平和と戦争を考える。</p> <p>4巻では戦争に反対した女性国会議員、最高裁で戦争批判の権利を認めさせた兄妹…。様々な時代において、非暴力で平和を求めて行動した有名・無名の人たちの行動と生き方を追い、その勇気と知恵を学ぶ。</p> <p>5巻では、若者が平和について発信していく姿を描く。</p> <p>6巻では、私たちに憲法がどう関わっているのかを問い直す。</p> <p>具体的な戦争に関する話ではないが、戦争と平和について考えさせる</p>
<p>7</p>	<p>戦争と平和 10代からの考えるレッスン</p> <p>ブリジット・ラベ/著: ミシェル・ピュエシュ/著: 西川葉澄/訳</p> <p>(哲学のおやつ ) 汐文社 2010.12</p>	<p>おやつを食べるように気軽に楽しく、哲学にふれてみませんか? 身近な例を用いて「戦争」と「平和」について考えます。すぐに答えの出る問いではないけれど、今だからこそ考えたいテーマばかりです。戦争と平和について、なぜ?という問いを考える。具体的なたとえ話が効果的。</p> 

戦争とは？

<p>8</p>	<p>なぜ世界には戦争があるんだろう。 どうして人はあそぼうの？</p> <p>ミリアム・ルヴォー・ダロンヌ/文: ジョシェン・ギャルネール/絵: 伏見操/訳 (10代の哲学さんぽ 3 ) 岩崎書店 2011.4</p>	 <p>ごくふつうに学校に通い、家族や仲間と生活し、休暇を楽しみたい。爆弾におびえて生きることなど、まっぴらだ。なのに、どうして戦争は、なくならないんだろう？「戦争」についてとことん考える本。哲学的な文章だが、難解ではない。</p>
<p>9</p>	<p>写真でみる太平洋戦争とくらし・道具事典</p> <p>戦争の記録 宮部精一/監修 金の星社 2016.3</p>	<p>太平洋戦争はなぜおこったのでしょうか。また、人びとは激動の時代をどのようにくらししていたのでしょうか。太平洋戦争の開始から終結までの大きな流れを説明し、戦中の主な事件を時系列に沿って、写真とともに紹介します。</p> 
<p>10</p>	<p>戦争</p> <p>ミハイル・ショーロホフ/ ほか著: 赤木かん子/編 (Little Selections- あなたのための小さな 物語- 1 ) ポプラ社 2001.4</p> 	<p>① 人の運命 ミハイル・ショーロホフ/著 井上満/訳 ② ぼくは戦争を忘れない 手塚治虫/著 ③ 語り部になりたい 手塚治虫/著 ④ 紙の砦 手塚治虫/著・解説:赤木かん子/著 おもしろくて読みやすく、そして深い中・短編に解説をつけ、若い人たちむけに編んだ短編集シリーズ。 1ではショーロホフの「人の運命」、手塚治虫の「紙の砦」など、戦争との中で翻弄される人間の生き様を描いた作品を収録。</p>
<p>11</p>	<p>命どう宝 戦争はなぜ起こるのか</p> <p>石川文洋/写真・文 童心社 2018.3</p> 	<p>報道カメラマン・石川文洋が取材した、さまざまな戦争。その実態を、写真を通して子どもたちに語りかける平和の授業を書籍化。</p> <p>1 は、戦争と報道について取り上げ、戦争を防ぐためにはどうすればよいのかを考える。</p> <p>2 は、沖縄戦について取り上げ、今の沖縄を取り巻く問題を考える。沖縄戦のことに関する項目は少ない。</p> <p>3 は、戦場で命を落とす若者や戦争の後遺症など、ベトナム戦争について取り上げる。</p> <p>4 は、カンボジア、ラオス、ボスニア等の戦争について取り上げ、戦争はなぜ起こるのかを考える。太平洋戦争の事例は少ない。</p>